

理学部関東同窓会だより

関東同窓会会長 満田 泰啓 (文理学部・化学 39 卒)

理学部関東同窓会は設立準備から今年で 10 年を迎えます。平成 16 年 (以下 H16) の国立大学の法人化と並行して H18 より関東地区連合同窓会設立に参加し、さらに H19 より理学部関東同窓会の設立に取り組むこととなりました。607 名の卒業生名簿を頼りに設立発起人会を結成、H20 に設立発起人会総会を開催して、会則や運営組織等、当会の骨格を決定しました。第 1 回総会を H21 に設立総会を開催し、継続して H22 に 2 回目の総会を開催して会を軌道に乗せました。以後 3 年に 1 回総会を開催することとし (関東地区連合同窓会開催の前年)、3 回目を H25 に開催し、そして 4 回目を今年 (H28) の 10 月 29 日に開催する予定です。理学部関東同窓会の現在の登録会員は約 450 名です。当会の運営母体としての役員は会長 (運営総理)、副会長 (学科代表)、幹事長 (運営総括)、事務局長 (事務局総括)、会計幹事を含む常任幹事、会計監査、顧問の総勢 18 名で構成しており、年間数回の役員会と懇親会を開催して運営しております。当会の運営の要諦は、同窓生の拠り所であり、相互交流や親睦の場所であります。そして関東の地から母校の発展に寄与できるよう努めてまいりたいと思います。とは言え、まだまだ始まったばかり。課題は山ほどあります。関係各位のご支援・ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

先般は同窓会連合会の総会・懇親会に参列させていただきましたが、同総会の運営が多忙な教員任せになっていると感じました。各同窓会を運営母体としての役員人事構成を明確にして、卒業生を中心とした運営が同窓会の新たな活性化につながるのではないかと思います。もうひとつは母校の威信低下の話題でした。卒業生の一人として誠に悔しく残念に思いました。進取の教育を支える母体のひとつとして、薩摩維新の風土と歴史・人物が残した誇りに触れる機会を作り、「義を見て為さざるは勇無きなり」の人間形成、鹿児島での大学生活に誇りを持てるような感動の場の提供も大切ではないかと感じました。総会の終了後に川畑会長、與倉理学部長、藏脇副学部長、同窓会代表幹事の有馬さんと同窓会ホームページの改善等、身近な課題について協議する場をいただき感謝いたしております。

今年は関西地区同窓会の設立を応援してまいります。関東同窓会の役員名簿は同窓会ホームページ <http://www.sci.kagoshima-u.ac.jp/~dosokai/dosokai/> で紹介しています。また、理学部関東同窓会のメールアドレスは kadai.s.knt.dousokai@gmail.com です。



写真 第 1 回理学部関東同窓会総会・懇親会での集合写真